

まちづくりアンケート ご協力ありがとうございました

先月に八鹿地区住民を対象にアンケートを行いましたところ、大勢の方からご回答をいただきました。誠にありがとうございます。

アンケートはまちづくり計画の基礎となります。このアンケートをまちづくり計画に活かしていきたいと考えています。アンケート結果が集計できましたので、一部抜粋ですが報告をさせていただきます。

このアンケート結果に対するご意見を自治協議会事務局にメールかFaxでお寄せ下さい。但し電話でのご意見はご容赦ください。



調査配布世帯	回収枚数	回収率
1,948世帯	927枚	47.6%

設問4

一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか

選択項目	割合
1人	17.8%
2人	32.1%
3人～5人	41.1%
6人以上	7.4%
無回答	1.6%

設問2 ◆回答者の年齢

選択項目	割合
19歳～29歳	0.6%
30歳～49歳	14.9%
50歳～64歳	34.6%
65歳～74歳	25.8%
75歳以上	23.1%
無回答	1.0%

設問3 ◆性別

選択項目	割合
男性	47.5%
助成	51.6%
無回答	0.9%

設問5 ◆居住年数

選択項目	割合
5年以内	4.9%
6年～10年	3.7%
11年～20年	7.2%
21年以上	83.6%
無回答	0.6%

設問6 ◆暮らしの中で今取り組んでほしいと思うものは(3つまで選択)

選択項目	割合
犯罪や事故の防止対策	9.3%
身近なスーパーや商店の確保	18.8%
地滑りや洪水など自然災害対策	8.6%
猪や鹿、ヒルなどの有害鳥獣虫対策	8.4%
催しやイベントの活発化	2.6%
公共医療機関の医師などの充実	26.6%
公共交通機関の整備と道路の整備	5.7%
福祉サービスの充実	14.3%
講座・教室を開設し生涯教育の充実	2.1%
その他	1.1%
無回答	2.5%



設問7 ◆あなた自身や家族が高齢・障害・病気・介護・子育てなどで困った時に、地域でどんなことをしてほしいですか。(3つまで選択)

選択項目	割合
安否の声掛け	23.3%
家の周りの除雪や草取り・ゴミだし	21.5%
病院・学校などの時の外出の手助け	13.5%
話し相手や相談相手	13.4%
ちょっとした買い物	8.4%
家の掃除や片付け	4.0%
短時間のこどもの預かり	2.6%
食事の世話	5.8%
関わってほしくない	1.3%
その他	1.3%
無回答	4.9%

設問9 ◆今後あなたの区や地域の活動に、どのように関わっていかうと思いますか。

選択項目	割合
率先して参加したい	7.7%
活動の内容などの情報がわかれば参加したい	29.7%
一緒に活動する仲間がいれば参加したい	24.2%
趣味や特技などを生かせる活動なら参加したい	14.5%
交通費や日当など若干でも謝礼のようなものがあれば参加したい	2.8%
参加したいが、身体や家庭の事情で参加できない	13.2%
参加したくない	3.1%
その他	1.2%
無回答	3.6%

設問11 この先あなたが生活する上において不安なことや悪くなると思われることは何ですか(3つまで選択)

選択項目	割合
身近に商店がなくなり、買い物が不便になる	16.2%
集落の機能が低下し、村の行事ができなくなる	6.7%
後継ぎがいなくなり身近に、話をしたり、相談出来る人がいなくなる	4.8%
医療機関や医師が減って診察や入院がしにくくなる	19.5%
子どもの数が減り、近くに子どもや同級生が少なくなる	4.5%
仕事や雇用の場がなくなる	9.6%
台風や洪水などの自然災害	8.3%
自分や家族の健康・介護	17.0%
交通手段がなくなり、移動がしにくくなる	3.9%
医療、介護、福祉などの利用について制度やサービスが分からない	5.2%
趣味や文化活動ができなくなる	1.1%
その他	0.5%
無回答	3.2%

設問8 ◆上記のような困った家族があったとき、あなたにできることは何ですか(3つまで選択)

選択項目	割合
安否の声掛け	31.5%
家の周りの除雪や草取り・ゴミだし	15.8%
病院・学校などの時の外出の手助け	8.2%
話し相手や相談相手	15.5%
ちょっとした買い物	16.0%
家の掃除や片付け	3.1%
短時間の子どもの預かり	1.9%
食事の世話	1.3%
したくない	0.9%
その他	1.0%
無回答	4.8%

設問10

◆設問9で「⑦参加したくない」と答えられた方がお答えください。「参加したくない」理由を教えてください。

選択項目	割合
人づきあいがいやだ	21.3%
そのうち役員などをしなくてはならなくなる	19.2%
面倒くさい。わずらわしい	29.8%
私がでなくても何とかなる	10.6%
その他	19.1%
無回答	0%

設問14 八鹿地区自治協議会では、八鹿地区の情報の共有と協議会の活動方向を知っていただくことを目的に「ふるさと通信」を毎月発行しています。この「ふるさと通信」を読んだことがありますか。

選択項目	割合
熟読している	14.6%
興味がある記事のところを読んでいる	41.3%
あまり読んでいない	22.7%
読んだことがない	3.5%
見たことがない	12.2%
無回答	5.7%

設問12、13は、自由記載の質問のため次ページに要旨を記載しました

設問12 八鹿地区を活性化するためには、どのようなことをすべきだと思いますか

防災・安全・環境関係

- 公共交通機関の充実やバス代無料化。小バス、巡回バスの運行 3名
- 歩道設置、通学路整備 13名
- 歩いてぶらぶらできる地域をつくる
- 自然の利用、河川の美化、町内の美化、街路樹、公園などの美しい街 11名
- 一方通行の解除 3名
- 防火水路の完成
- 医療施設の充実、オンリー1の病院をつくる 31名
- 街中に気軽に駐車できる場所をつくる
- 歩行者天国の日をつくる
- 312号線と八鹿駅をつなぐ
- 自然エネルギーの利用強化
- 防犯灯をブルー系の色にする
- 九鹿方面の道路整備
- 空地の有効利用（グラウンドゴルフ場など）
- 図書館、児童館・喫茶店をつくる 4名

健康・福祉・介護関係

- 近所の人との声掛け
- 福祉1番のまちづくり。長寿の街のアピール、長寿の郷を核とした街づくり 3名
- 元気で明るい高齢者と子どもが接する場をつくる
- 健康づくりをして医療費の削減
- 出生数を増加させる策を考える 5名
- 地区ごとに独居世帯、障害者等の弱者救済対策マニュアルをつくる
- 精神面の育成
- 送迎付きでふれあい倶楽部の活用
- 保育料を引き下げる等、八鹿以外から来たくくなるような施策を
- 若い世代が活躍してほしい 2名
- ボランティア活動
- 高齢者の活躍できる場をつくる

教育・文化・人権関係

- 子供から大人まで楽しめる和太鼓を広める
- スポーツ施設をつくり他府県から来てもらえるように
- 地域ぐるみのふれあいの場を設け人間関係を密に 7名
- 女性が元気な地区は盛り上がる
- 開放的な図書館の建設、内容を充実させる 12名
- 愛郷精神を養う教育を行う
- 親子で参加できるイベントを開催
- 若者が集まる場所や参加できる催しを 4名
- 文化祭や夏まつりなどを他地区と一本化する
- 教室や講座を持ちたい人に施設を貸し出す
- 自分のできることを地道に
- 活性化成功の街づくりを勉強する 4名
- 八鹿の良いところ悪いところから考える。学習会を 2名

- 大学を誘致する
- 住民意識を盛り上げる。住民の声を取り入れる 2名
- まちづくりの委員に高校生も参加してもらう

産業・観光・地域づくり関係

- 雇用の確保 65名
- 若者や市民が安心して住めるような環境づくり 22名
- 地区行事へ参加 6名
- 皆が将来の地域活性化のためになるならないを考えて
- 地区リーダーの養成
- 市街地マップの作成、地元の観光資源を生かす 5名
- 街なかにはベンチを設置
- Uターンをしたくなるような仕事や環境づくり 5名
- 八鹿駅及び周辺の開発・美化 5名
- 企業誘致、大型商店の誘致 47名
- 若者定住のための対策を 6名
- 地域住民の交流を活発に 4名
- 交通の便を良くする
- 車社会に対応できる店づくりや催し
- 何を重点にまちづくりをするか方向を明確にする
- 耕作放棄地の活用 5名
- イベントを開催する 13名
- 八鹿をアピールする。「八鹿は割と便利な田舎」をアピールする。広報活動を充実 3名
- 八鹿ならではの事、ものを考える 10名
- 地元商店の活性化 9名
- 空家、空き店舗の利用 12名
- 各地区のイベントを活発に 3名
- これまでと違う目線で商売をする
- 地域通貨を利用し地元での購買に得点をつける
- 店同士で連携したサービスを行う
- 借地、借家の地主が協力的になること 7名
- 軽トラ市を行う
- 企業者への補助金を出す
- 市民と行政の連携 3名
- 市民活動への補助
- 酒蔵見学ができるように
- 河原を整備し、バーベキューなどができるように
- 商店共通のポイントカードを導入、高齢者宅への宅配サービス、共同ちらしの作成 2名
- 行政と住民が危機意識を持つ
- 特定日や期間限定の店舗をつくる
- 八木川の景観を生かし観光スポットにする
- 駅前開発・活性化 2名
- 学生の電車待ちの時間に立ち寄れる場をつくる 2名
- 交流人口を増やす 2名
- イベントなどのお知らせをふれあい放送する 2名
- ペアを再生する。ペア食品売り場を継続させる 2名
- 周辺の街にないようなものをつくる 2名

- 妙見杉などをPRする
- 誰もが参加できる行事を 5名

- 道の駅でアピールする

- また来たいと思わせるものや場所をつくる

- 行事等がある際、地区内でもっと声掛けして参加者を募る

- 地元野菜などの朝市の開催

- 定期的にフリーマーケットや青空市など集客できる催しをする

- 他県から人が集まるようなマラソン大会を開催する

- 大型宴会場兼会議場の施設を設置

- 食事ができる場所をつくる(レストラン・食堂など) 8名

- 地場産業の育成 2名

- 農業方向に発展するような方法を考える 2名

- グンゼ空地や事務所を借用し資料館や図書館、公園に 9名

行政関係

- 無駄な公共事業をなくする

- 市議会議員、市職員の給与・定員の見直し 4名

- 市職員・行政がもっと活発に動くべき 6名

- 市議会も活動的にせよ 2名

- バランスシートを健全化し必要なサービスを行う

- 税金を有効に使う 2名

- 合併する

- 地価価格を適当なものにする

- トップを変えて大きく方向転換すべき



設問13 八鹿地区の活性化のために私たち住民はどのようなことができると思いますか

組織づくり関係

- 今現在十分活動している
- 住民と行政が一体化できるような組織づくり 2名
- 協力体制をとる 4名
- 子ども会、女性会、老人会を存続させていく
- 住んでいる地区住民が知恵を出し合う集会を持つ 2名
- 他地区と交流する機会を持つ 2名
- 町外、市外の人で一時的に八鹿に居住している人の意見を聞く
- 夢を提案する。意見を出し合う 4名
- 行政区を合併する
- 納得できる計画をつくる
- 地区内で助け合う 6名
- 目標を具体的に示し協力しやすい体制にする

行政関係

- 雇用の場を確保する
- 小バス、巡回バスの運行
- スポーツ施設をつくり他府県から来てもらえるように
- 行政に要請、働きかけをする 4名
- 納税に協力する 3名
- サービス付き高齢者住宅をつくる
- 行政に動いてもらう 2名
- 排他的なところを改める 2名
- 制度は補助金の創設で人口の増加を見込む
- 住宅地の整備
- 図書館の建設
- 一方通行の解除
- 交通機関の充実
- 施設使用料の軽減

ボランティア関係

- 挨拶、声掛け、コミュニケーションをとる 26名
- 各地区でボランティア活動をする 4名
- 自分の時間を他人のために使う気持ちを持つ 2名
- 助け合いの精神で 6名
- ボランティア制度の拡大 2名
- 参加しやすいボランティア活動にしていく

情報発信・PR

- 八鹿の良いところをアピールする
- 地域の特徴や観光資源をアピールする 2名
- 特産品の開発とPR 2名
- メディアやパソコンを通じて個人レベルの情報発信

自分の街を知ろう

- 自分の住んでいる地域を知ること
- 地域に関心を持つ 6名
- 地区ごとにできることを考えてやってみる 3名

行事等への参加

- 行事に積極的に参加する 41名
- 子供から大人まで一緒に参加できる催しを行う 2名
- やる気を出す
- 何事にも協力する
- 文句を言わずに協力し金も出す
- 住民の自治協への参加が当たり前のもという意識を育てる
- サークル活動を増やす

イベント関係

- 町民運動会をもっと楽しいものに
- イベントの企画、準備段階から住民に参加を求める
- 歌声喫茶を定期的に行う 5名
- イベントを開催する 5名
- 楽しんで参加できる行事を 2名
- マンネリ化行事の見直し
- 夏まつりの行事の際誰もが気軽に参加できる環境づくり

ふれあい喫茶

- 男性の行きやすいふれあい喫茶
- 役に立つふれあい喫茶

福祉・高齢者

- 福祉活動を活発に
- 健康で長生きする
- 高齢者も健康で働けるよう健康管理をする
- 子供に頼ることなく徒歩で行けるような場所に商店、喫茶店などをつくる
- 老人の集まる場所をつくる 2名
- 高齢者も若い人のすることに興味を持つ
- 高齢者の意識改革 2名
- 高齢者でも働ける職場の確保
- 朝礼、体操をする
- 高齢者が生き生きと暮らす姿を若い人に見せる
- 弱者救済対策マニュアルづくり
- 老人クラブ会員にカードを

若者

- 若い人が元気を出して積極的になる 2名
- 若い人がどんどん意見を出す
- 青年団が活発に活動する
- 若者が集まれる場所をつくる
- 農業の後継者を育てる

環境

- クリーンな町づくりのためのポイ捨て禁止を徹底
- 町内の美化 8名
- 中心部の花街道化

交流・先進地

- 地区や町の活動、人との交流に重点を置き住みよいまちづくりをする
- 世代間の交流
- 先進地視察で参考にする

見直し

- できるだけ地元で買い物をする 19名
- 個人レベルでできることを無理せずにやる 4名
- 企業誘致そのために住民も協力すること 7名
- 人の役に立つ生活をする
- 自分自身が幸せになる暮らしをする
- 自分のこととして考える 3名
- 地区づくりをする
- 自分たちがもう一つできることをする
- 思いやりの心を持つ
- 行政に頼らない自立した町
- 地区全体でできるスポーツや娯楽の実施

観光

- 特産物、観光スポットの開発
- 街中に駐車場を 2名
- ガイドの養成

子育て

- 若者が定住し子育てしやすい環境をつくる 8名

空き店舗

- グンゼ跡地の利用 3名
- 空地空き店舗の提供、活用 6名

文化の継承・施設の利用

- 先人の作り上げた文化を新しい世代に伝える 2人
- 文化活動を活発にする 2人
- グラウンドゴルフ場をつくる
- 今ある施設を活発に活用する

その他

- 地域のための寄付 2名
- 神様をお願いする
- リーダーの発信
- 共通のテーマで活動 2名



12月22日(土) 12:00~ 土曜ふれあい クリスマス喫茶

特製ちらしずし
手づくりケーキ
お吸い物
を用意します
(40名先着ごめんです)



今年1年を締めくくる土曜喫茶です。

今回は、スタッフがうでによりをかけて、
クリスマスメニューを用意しました。

大勢の皆さんのお越しをお待ちしています。

遠方の方、足の悪い方 車で送迎します。

ふれあい倶楽部(自治協議会事務局)にお電話ください。

(電話 662-8778)

お迎えに行きます。遠慮なくご利用ください

八鹿地区人権学習会

平成24年11月22日(木)に八鹿地区人権学習会が八鹿公民館大会議室で開催されました。



今年は、講師に県立和田山高等

学校の瀬藤虔一氏(上級教育カウンセラー。学校心理士)を招き、「児童虐待といじめ、地域のみまもり」と題した講演をしてもらいました。

最近何かと問題になる虐待といじめが題材であり、事例を交えた講演内容でした。子どもの命を奪うのも、命を救うのも「人・地域」と話す講師のお話しに、参加者は熱心に話に聞き入っていました。

この会は、八鹿地区区長会、八鹿地区自治協議会、養父市人権教育推進協議会八鹿支部、教育委員会が主催して行われました。

【年末年始のおしらせ】

年末年始のお休みは下記のとおりです

12月29日	(土)	} お休みです
30日	(日)	
31日	(月)	
1日	(火)	
2日	(水)	
3日	(木)	

12月28日(金)まで、1月4日(金)以降は通常勤務をします。ご利用ください

今年も事務局前にイルミネーションが設置されました。京口方面から真正面の位置に見えます。

また、長い間玄関前を飾っていたベゴニアを撤去し、今度はビオラとプリムラを植えました。



玄関前には、小橋会長が育てた葉ボタンが置かれました。

正月には、お花が生けられる予定です。事務局もお正月を迎える準備ができました。

来年もよろしくお祈りします。

【事務局一同】